

φ 48 スモール DN タコメーターキット 12500RPM 取扱説明書

製品番号 05-05-0119

適応車種	レブル 250 (MC49-1000001 ~)
	レブル 250S Edition (MC49-1200001 ~)
	レブル 500 (PC60-1000001 ~)

まえがき

この度は、弊社製品をお買上げ頂き有難うございます。ご使用につきましては、下記内容をご理解の上ご使用下さいます様お願い申し上げます。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合があります。予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

■取り付けの際には、工具等を準備し、取り付け要領に従って十分注意して作業を行って下さい。尚、この取扱説明書は基本的な性能や知識を持つ方を対象としております。取り付け等の経験の無い方、工具等の準備が不十分な方は、技術的信用のある専門店へご依頼される事をお勧め致します。

■当製品使用中に発生した事故、怪我、物品の破損等に関して如何なる場合においても弊社は賠償の責任を一切負いかねます。

■当製品を取り付け使用し、当製品以外に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どの様な事柄でも一切負いかねます。

■他社製品との組合せは保証対象外になりますのでご遠慮願います。

■製品には、エッジや突起がある場合があります。必ず作業手袋を着用し作業を行って下さい。
(説明書内で作業手袋未着用の写真がある場合でも、作業時は作業手袋等を着用して下さい。)

■当製品のサブコードを取り付ける場合、一部簡単な配線加工等が必要になります。

■一度の走行距離が短い場合等、車両のバッテリーに十分な充電が行われない場合こまめにバッテリーの充電を行って下さい。

又、保管期間がある場合は、バッテリーマイナス端子を取り外しこまめに充電を行なうか、弊社製バッテリーチャージャーで充電を行って下さい。(待機電流でバッテリー上がりの原因になります。)

■取り付け作業は、レブル 250 が主体です。レブル 500 は、サービスマニュアルの手順に従い外装パーツ等の取り外しを行って下さい。

■ホンダ純正アクセサリー品、ヘッドライトカウル :08R70-K87-A30 と同時装着可能。

特徴

レブル 250、レブル 500 専用のタコメーターキットです。純正メーター横に配置する為、非常に視認しやすいです。

付属のサブコードは簡単な配線加工で取り付ける事が出来ます。

メーター本体にはφ 48 スモール DN タコメーター (ホワイト LED) を採用しています。

指針角度をデジタル信号 & 小型モーターが完全制御。指針保持力が高く、信頼性に優れた構造です。

注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害が想定される内容を示しています。

■作業を行う際は、必ず冷間時 (エンジンやマフラーが冷えている時) に行って下さい。(火傷の原因となります。)

■作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品破損・ケガの原因となります。)

■製品及びフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、作業手袋等を着用し手を保護して作業を行って下さい。(ケガの原因となります。)

警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

■技術、知識のない方は作業を行わない下さい。(技術、知識不足等による作業ミスで、部品破損により事故につながる恐れがあります。)

■作業を行う際は、水平な場所で車両を安定させ安全に作業を行って下さい。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)

■点検、整備を行った際、損傷部品が見つかった場合、その部品を再使用せず損傷部品の交換を行って下さい。
(そのまま使用すると、部品破損により、事故につながる恐れがあります。)

■エンジンを回転させる場合は、必ず換気の良い場所で行って下さい。密閉したような場所では、エンジンを始動しないで下さい。(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)

■走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みの有無を確認し、緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行って下さい。(部品の脱落等で、事故につながる恐れがあります。)

■走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)

■点検や整備を行う際は、当取扱説明書やサービスマニュアル等に記載されている、要領、手順に従って下さい。
(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)

■指定した部品以外の部品使用は、一切行わないで下さい。(部品破損により事故につながる恐れがあります。)

◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品及び価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。

◎クレームについては、材料及び加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後 1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させて頂きます。

但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。

なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。予めご了承下さい。

◎この取扱説明書は、当製品を破棄されるまで保管下さいます様お願い致します。

株式会社 スペシャルパーツ **武川** 〒 584-0069 大阪府富田林市錦織東 3-5-16

TEL: 0721-25-1357 FAX: 0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>

ご使用上の注意点

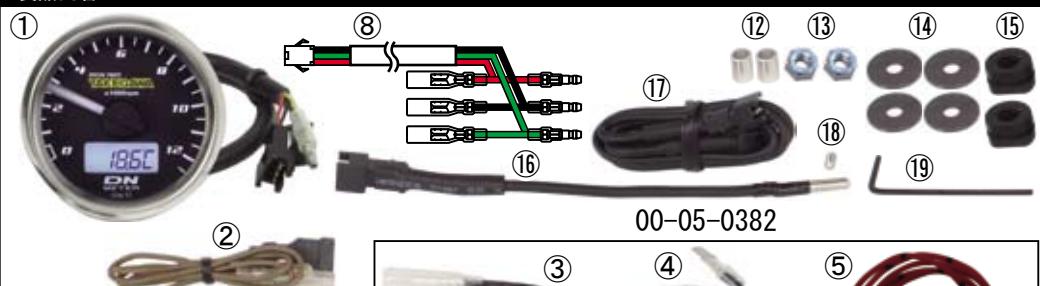
社外品の H. I. D. キット、他社製 LED ヘッドライトやフォグランプ類は、絶対に同時装着しないで下さい。
バラスト / インバーター (電圧変換装置) からデジタル回路に悪影響を与える高電圧ノイズが発生する物があり、製品故障や動作不良の原因となります。
社外品の点火装置 (イグニッションコイルやプラグコード) も点火電圧のアップに伴う悪影響ノイズの増大により故障の原因となりますので取り付けしないで下さい。
充電力の不足している社外品の発電装置は、バッテリー電圧の低下、制御電圧の不具合により故障の原因となる可能性がありますので取り付けしないで下さい。

[ヘッドライト OFF での走行禁止]

ヘッドライト常時点灯車を安易な改造 (断線させるだけ) によりライト OFF 状態にして走行すると消費されない電力が車体全体の電圧を上げてしまいます。そのまま走行を続けると、過充電によるバッテリーの劣化や過度の負担により純正レギュレーターが故障してしまう可能性があります。
ノーマルよりも高いエンジン回転数で走行するエンジン改造車では、悪影響がより強くなります。
ヘッドライトが球切れてしまった場合は、直ちに走行を止めるか、どうしても走行する必要がある場合はハイビームに切り替えて (光軸も調整して) 下さい。この時、なるべく低回転で走行して下さい。

進入した湿気が出て行くように湿気抜きを本体裏面に設けております。洗車時など、メーター底面に直接水を吹付けないように注意して下さい。また、湿度の高い状態に置きますと本体内に湿気が入り画面がくもってしまう可能性があります。

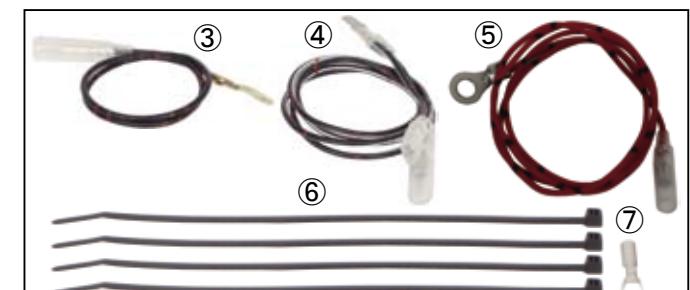
製品内容



00-05-0382



05-06-0028



番号	部品名	個数	リペア品番	番号	部品名	個数	リペア品番
1	メーター本体	1		11	カラー (ブラック)	1	
2	RPM コード B (550mm)	1	00-05-0371	12	クッションカラー	2	
3	アースコード	1	00-05-0043	13	6 角ナット 4mm	2	00-00-0398 (10ヶ入り)
4	電源オプションコード	1	00-05-0189	14	プレーンワッシャ 4mm	4	00-05-0086 (10ヶ入り)
5	常時電源コード (レッド)	1	00-05-0381	15	クッションラバー	2	
6	結束バンド	4	00-00-0269 (ブラック / 10本)	16	スティック温度センサー	1	07-04-0553
7	リセプタクル (ギボシ中 3.5 メス)	1	00-00-0270 (5ヶ入り)	17	温度センサー連結コード 900mm	1	07-04-0554
8	メーターメイン配線	1	00-05-0149	18	6 角穴付き止めネジ (イモネジ) M3x5	1	00-00-0480 (6ヶ入り)
9	メーターマウントステー	1		19	L レンチ 1.5mm	1	00-00-0902
10	ボタンヘッドライトソケット スクリュー 8x45	1					

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご発注下さい。品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。

尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さい様お願い致します。

※リペアパーツはキット内容と若干、形状等異なる場合があります。使用につきましては問題ございません。予めご了承下さい。

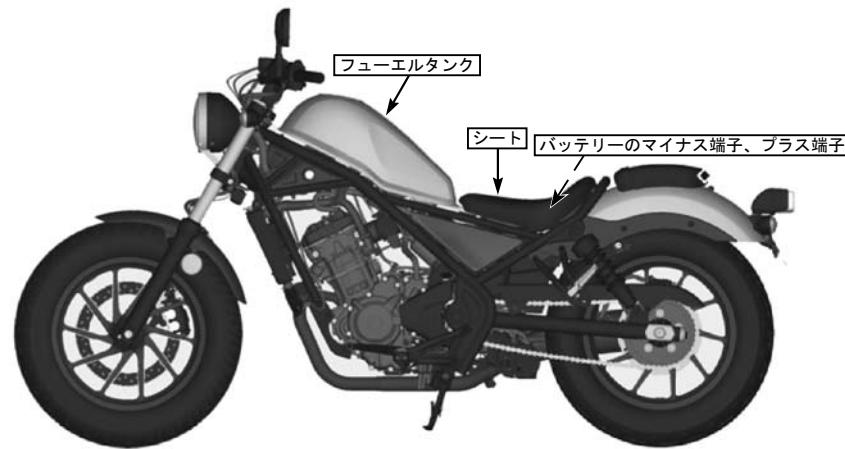
※写真にない RPM コード、メーターマウントステーは使用しません。

※口で囲っていない製品は、05-05-0083 内の物を使用。

▲ 注意

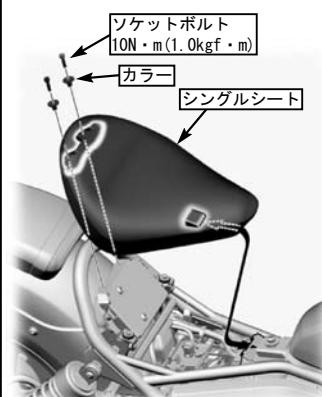
本取説での外装部品取り外し作業内容は、詳細を省略した概要のみを記しております。

外装取り外し作業に不慣れな方は、販売店等に作業を依頼するか、必ずメーカー純正サービスマニュアルの作業手順・締め付けトルクの指示に従い作業を行って下さい。また外装類の脱着時、爪部分や溝部分を破損しないように、注意深く作業を行って下さい。



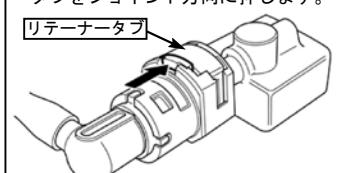
□シートを取り外します。

- ソケットボルト及びカラーを取り外します。
シングルシートを後方に引いて取り外します。

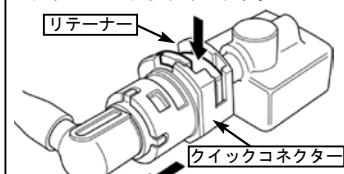


□フューエルタンクを取り外します。

- タンクを固定しているボルトを取り外します。クイックコネクターの接続を外す前にサービスマニュアルを参照し燃圧を抜きます。
○バッテリーのマイナス端子、プラス端子の接続を外します。



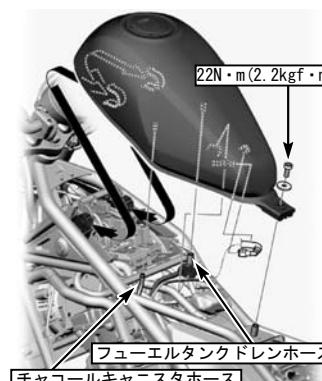
- リテナーを押し下げた状態にします。クイックコネクターを、フューエルポンプジョイント / フューエルインジェクタジョイントから外します。リテナーの状態を点検し、必要に応じて交換します。
フューエルタンクを持ち上げ、フューエルホースをフューエルポンプセッティングプレートのホースクランプから取り外します。



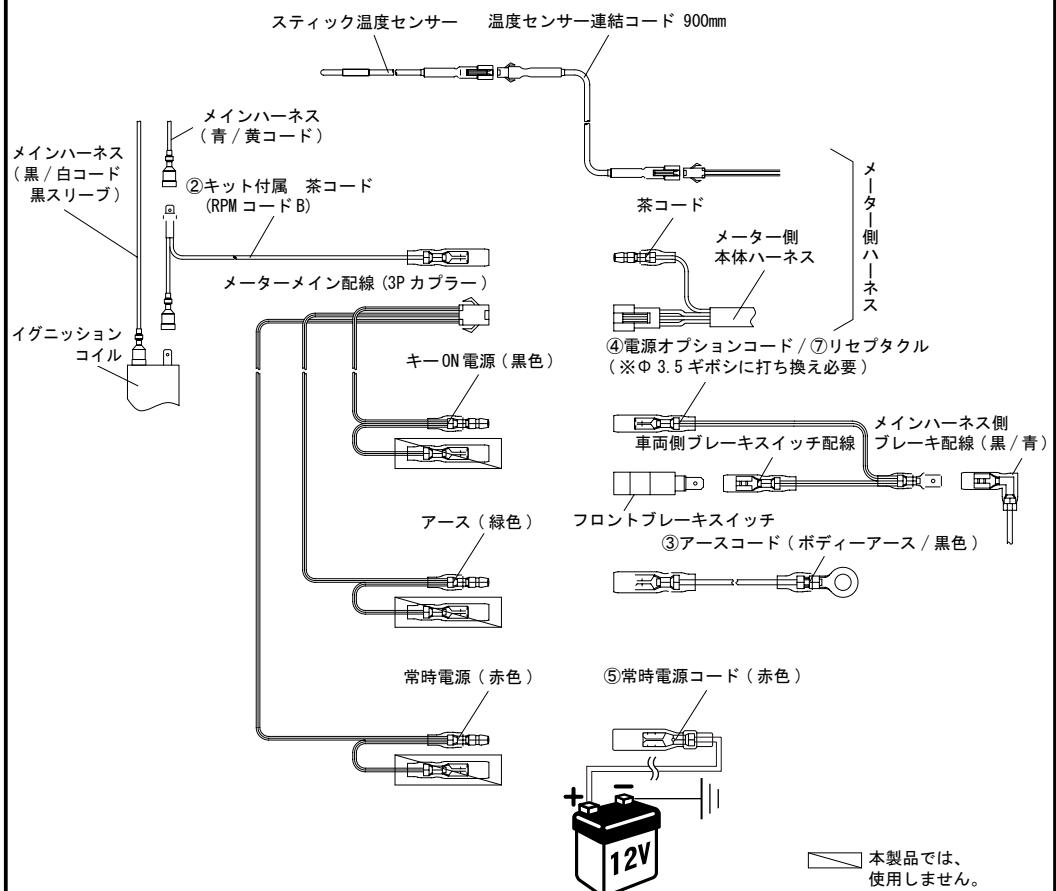
○フューエルタンク下のフューエルポンプ 5P カブラーを取り外します。
※レブル 500 は、3P カブラー。



- 下記の部品を取り外します。
フューエルタンク ドレンホース
チャコールキャニスタホース
フューエルタンク
※この時フレームに養生テープ等貼り付けフレームが傷付かない様
フューエルタンクを持ち、後方に少し引きながら取り外します。



配線接続図



※② RPM コード B (茶色) を IG コイル本体に接触しない様に取り回しして下さい。タコメーターの指針の誤作動に繋がります。

▲ 注意

本取扱説明書中のコード色表記は、ベース色 / ライン色としています。
黒 / 白という表記のコードは、黒色の被覆に白色のラインが入っているコードを表します。

機能一覧

- 指針式タコメータ
- 最高記録（自動測定）
最高回転数記録



- サーモメーター
- 最高記録（自動測定）
最高温度記録
- 時計
- エンジンワークタイマー

耐震性、正確性に優れたDNモーターを採用した指針式タコメーターにサーモメーター、時計、最高記録（自動測定）、最高温度記録／最高回転数記録、エンジンワークタイマー機能をデジタル表示する多機能なタコメーターです。 ブラックパネルにオレンジ色照明を採用し、昼間と夜間共に視認性に優れたメーターです。

■各種機能一覧

 <p>指針式 タコメーター</p>	表示範囲 : ~ 12500 rpm	
	発火回数設定	クランクシャフト1回転あたりの発火回数設定。 1/2発火、1~6発火
	RPM信号	C.D.I. 点火からインジェクション車に多いフルトランジスタ点火まで、様々なRPM信号の認識性能に優れた回路とプログラムを装備
	電子回路	AC8~17V / DC10~18Vに対応し、電圧変動や過電圧に対して耐久性の高い電源回路を装備
	最高記録 (自動測定機能)	最高回転数記録 (リセットを行なうまで記録が保存)

1030C	サーモメーター	測定範囲：～120°C	設定→見出し番号①
		スティック 温度センサー付属 スティック温度センサー用各種アダプターをご購入頂く事で温度を計測出来ます。 又、水温計及び水温警告等付き車両で水温を計測したい場合、弊社製 PT1/8 温度センサーとノーマル温度センサーを交換することで水温を計測することが出来ます。	
		最高記録（自動測定機能）	最高温度記録（リセットを行うまで記録が保存）
		見出し番号⑥	

 100 時間までは分単位  100 時間以降は時間単位	ワークタイマー (エンジン 稼働時間計)	リセット可能範囲 : ~ 9999 時間 500rpm 以上のエンジン稼動時間を自動で加算する タイマー。500rpm 未満になると止まります。 100 時間までは分単位で記録され、100 時間を超 えると 1 時間単位で記録されます。 リセット可能。 メニューオフ対応 (非表示設定有り)	設定→ 見出し番号⑤
---	----------------------------	--	---------------

12:08 時計 表示:24時間 メニューオフ対応(非表示設定有り) 設定→見出し番号④

メニュー OFF 設定

取付ける車種によっては使えない機能や、お客様によっては不要と思う機能を隠す事が出来ます。対応の機能は「時計」「ワークタイマー」の2つです。メニュー OFF 設定は ADJ モードで行います。

例1) バッテリーレス車は時計機能が使えないで、時計をメニュー OFF に設定。

例2) スピードメーター側に時計があるので、タコメーターの時計をメニュー OFF に設定。

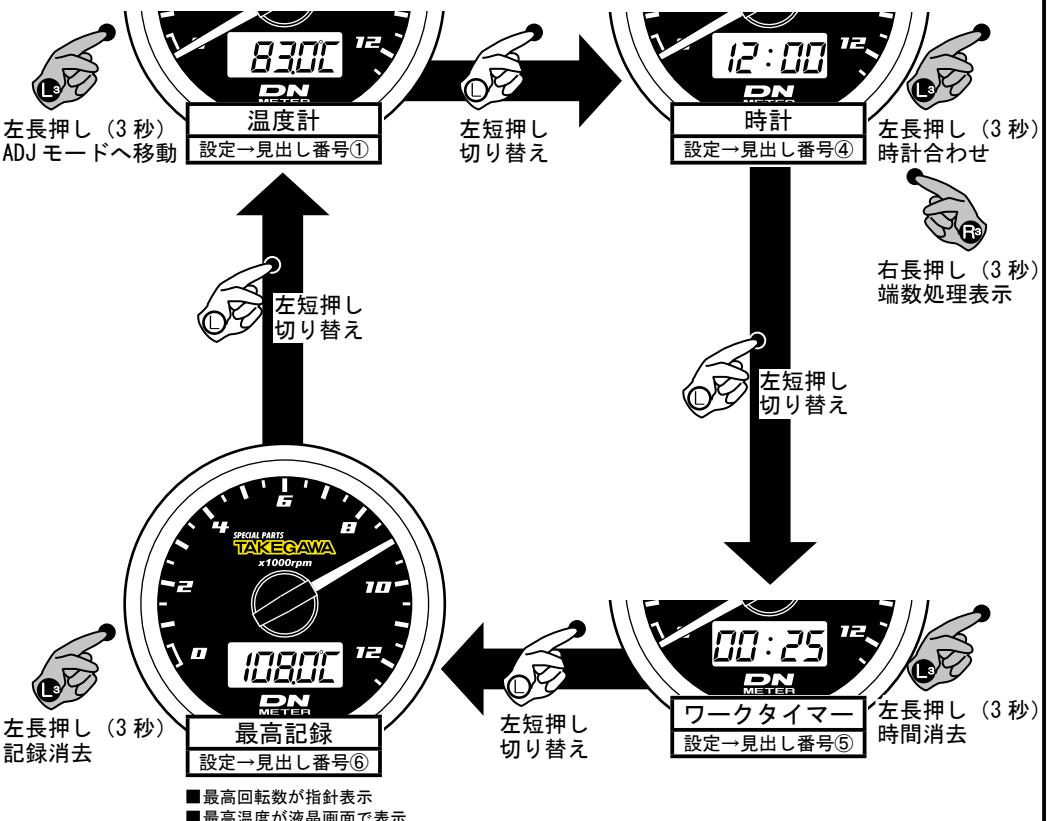
ボタンの操作方法

メーターの基本設定や表示切り替えは、メーター本体の裏にある2つのボタンを使用します。左右のボタンの説明は下イラストのように「文字盤を正面から見た状態」でボタンの左右を表します。又、ボタンを押して頂く際、「短押し」と「長押し(3秒)」の2種類の押し方があります。表示アイコンや押し方の表記をご確認の上、操作を行って下さい。



メータ一起動

- バッテリー電源車はキーONで、バッテリーレス電源車は、エンジン始動に伴い電源が入ります。
- 前回OFFにした時のモードで起動します。
- “左短押し”を行うと中央下の液晶画面の表示が温度計→時計→ワークタイマー→最高記録→温度計…に切り替わります。最高記録に閲覧しますは、最高回転数が指針表示、最高温度が液晶画面で表示されます。
- ワークタイマー表示中、“左長押し(3秒)”する事で、記録を消去。
- 最高記録表示中、“左長押し(3秒)”する事で、記録を消去。



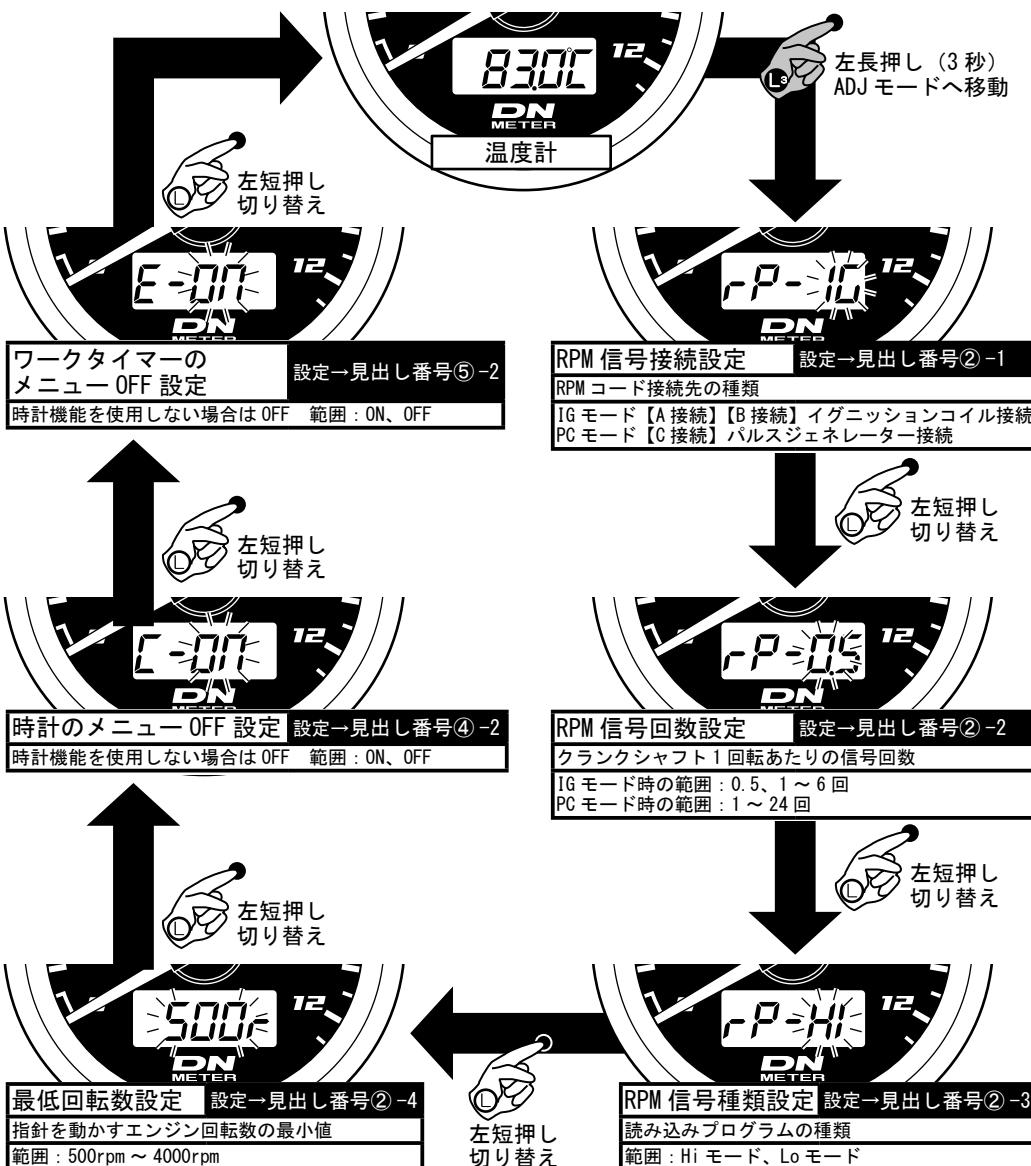
ボタンの操作方法

ADJ モード

- 各種設定値の変更、調整を行うモードです。
- “温度計”表示中に“左長押し(3秒)”でADJモードに入ります。

ADJ モード時

Lボタン(左ボタン)	短押し : 次設定項目に進む / 長押し : ADJモードを抜ける
Rボタン(右ボタン)	短押し : 設定値を進める / 長押し : 設定値を戻す



① 温度センサー入力

温度センサー連結コード、温度センサーの接続

- 温度計の測定範囲は0 ~ 120°Cです。
- 油温計測、水温計測を行うには、別途オプショナルパーツのアダプター類が必要です。
- 車種によっては、温度センサー取り付け可能なエンジン部品も販売しています。
- 弊社カタログにてオプショナルパーツをご覧下さい。
- 温度センサーを適当な位置に固定し、外気温計としての使用も可能です。

本体
コード

「5」灰
「6」黄

温度センサー連結コード 900mm

Φ 3
スティック温度センサー

ステアリング作動による干渉や走行振動による擦れ、エンジン高温部への接触などで損傷、断線しないように配線テープやタイラップを使いフレームや車体ハーネスに配線を固定して下さい。

センサー未接続(配線が断線)時は
数値が [---, ---] となります。

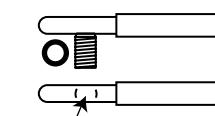
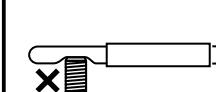
- 付属の止めねじは、弊社製対応パーツにスティック温度センサーを取り付ける際に使用します。
- ・脱落防止の為に止めねじにネジロック剤を少量付け、センサーに軽く線傷が付く程度で締め込みを止めて下さい。

6角穴付き止めねじ M3X5

LOCK
ネジロック剤

L レンチ 1.5mm

注意 止めねじの締めすぎでセンサー部が大きく
変形すると、内部の電子部品が損傷してしまう
可能性があります。

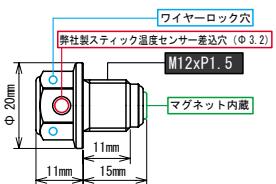


締め込みは、() 状の軽い線傷が付く程度まで

破損するとコードの断線又は短絡(ショート)
となる状態になります。
断線時の表示: [---, ---]
短絡時の表示: [120.00]

温度オプショナルパーツ

■ マグネット付きドレンボルト (M12xP1.5) レブル 250/ レブル 500 適合



エンジンオイルに混ざった鉄粉をドレンボルトに設けたマグネットが強力な磁力で吸着します。これにより、オイル内にある鉄粉が減少し、エンジンオイル本来の安定した潤滑性能を発揮する事が可能となります。更に弊社製アルミドレンボルトには、脱落防止としてワイヤーロックが行えるワイヤーロック穴と弊社製スティック温度センサー差込穴(Φ 3.2)を備えています。スティック温度センサーをドレンボルトに取り付けし、弊社製Φ 48スモールDNタコメーター 12500RPMに接続する事でドレンボルト部での温度を計測する事が出来ます。ドレンボルト本体はアルミ材を精巧に削り出し、表面にカラーアルマイトを施しています。カラーはシルバーブラック、ブルー、レッドの4種類。弊社ロゴレーザーマーリング入り マグネットには磁力が強力なネオジムマグネットを採用。■マグネットは“カシメ”でしっかりと固定 ■各種純正ドレンボルトと交換してご使用頂けます。

品名	品番
ドレンボルト(マグネット付き): M12 P1.5	シルバー 02-09-0022 ブルー 02-09-0024 ブラック 02-09-0023 レッド 02-09-0025
M12 シーリングワッシャ	00-00-0140

2-1

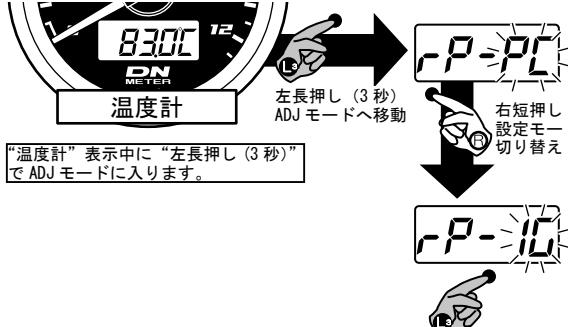
②-1 RPM 信号接続設定

RPM 信号接続設定 : RPM コード接続の設定を行います。
レブル 250 (MC49)、レブル 500 (PC60) はフルトランジスタ点火方式【B 接続】を行います。
【B 接続】の場合、設定モードは IG (イグニッションコイル接続) が該当します。

警告 作動確認前に本体の RPM 信号設定の切り替え操作を行って下さい。

- “温度計”表示中に“左長押し (3秒)”で ADJ モードに入ります。
- ADJ モードに入ると“rP-IG”が表示されます。

この状態で“右短押し”を行い、RPM 信号接続設定を行います。



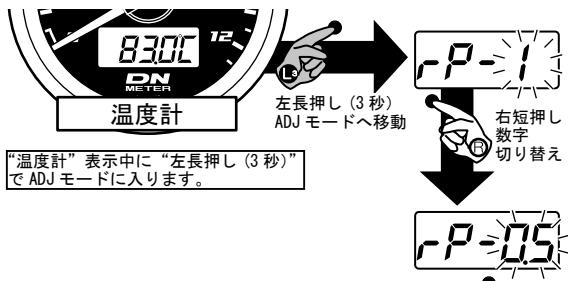
②-2 RPM 信号回数設定

RPM 信号回数設定 : クランクシャフト 1 回転あたり信号回数設定を行います。
レブル 250 (MC49)、レブル 500 (PC60) は“0.5”が該当します。

警告 作動確認前に本体の RPM 信号設定の切り替え操作を行って下さい。

- “温度計”表示中に“左長押し (3秒)”で ADJ モードに入ります。
- ADJ モードに入ると“rP-IG”が表示されます。“左短押し”により表示を切り替え、“rP-1”表示に合わせます。
表示順 “rP-IG” → “rP-1” → “rP-HI” → “500r” ...

“rP-1”表示の状態で、“右短押し”を行い、RPM 信号回数を設定します。



文字盤を正面から見た状態



左ボタン
右ボタン
正面

RPM 信号回数の設定後
左長押し (3秒) 確定
同時にメイン画面に戻ります。

2-3

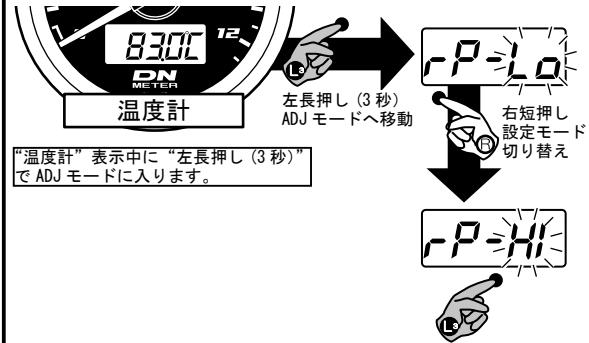
②-3 RPM 信号種類設定

RPM 信号種類設定 : 読み込みプログラムの種類を設定します。
レブル 250 (MC49)、レブル 500 (PC60) は“HI”が該当します。

警告 作動確認前に本体の RPM 信号設定の切り替え操作を行って下さい。

- “温度計”表示中に“左長押し (3秒)”で ADJ モードに入ります。
- ADJ モードに入ると“rP-IG”が表示されます。“左短押し”により表示を切り替え、“rP-HI”表示に合わせます。
表示順 “rP-IG” → “rP-1” → “rP-HI” → “500r” ...

“rP-HI”表示の状態で、“右短押し”を行い、RPM 信号種類を設定します。



RPM 信号種類設定画面になると“Lo”又は“HI”が点滅しています。
“右短押し”より Lo と HI が切り替えます。
レブル 250 (MC49)、レブル 500 (PC60) は“HI”になります。

設定モード HI が該当します。
“rP-HI”に設定して下さい。

接続するモードを設定（点滅表示）後、
“左長押し (3秒)”により、確定します。
確定と同時に ADJ モードからメイン画面へ
戻ります。

②-4 最低回転数設定

2-4

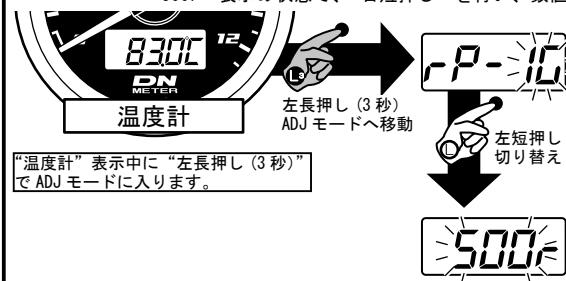
②-4 最低回転数設定

最低回転数設定 : 指針を動かすエンジン回転数の最小値を設定します。

■ バッテリーリース車用機能としての使用
バッテリーリース車はエンジンが停止すると、駆動電源が遮断される為、指針はその角度で止まったままになります。アイドリング回転数より少し高い回転数 (+ 500rpm 程度) を指定する事で、エンジン停止時の指針を 0 点に留める事が可能です。もし、指針の角度がずれてしまった場合でも、再起動時に自動補正されます。

■ バッテリー付き車は“500rpm”に設定して下さい。

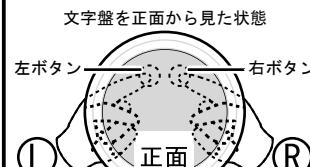
- “温度計”表示中に“左長押し (3秒)”で ADJ モードに入ります。
- ADJ モードに入ると“rP-IG”が表示されます。“左短押し”により表示を切り替え、“500r”表示に合わせます。
※ 500r の 500 の数字が異なる場合があります。表示順 “rP-IG” → “rP-1” → “rP-HI” → “500r”
“500r”表示の状態で、“右短押し”を行い、数値変更を行います。



画面が 500r 表示の状態で、“右短押し”し、
数値変更を行います。
ここで最低回転数設定を行います。

設定範囲 : 500rpm ~ 4000rpm
設定単位 : 100rpm

最低回転数の設定（点滅表示）後、
“左長押し (3秒)”により、確定します。
確定と同時に ADJ モードからメイン画面へ
戻ります。



左ボタン
右ボタン
正面

RPM 信号回数の設定後
左長押し (3秒) 確定
同時にメイン画面へ
戻ります。

